



◆努力して、創造していく間こそ、人生

7日(木)



3学期始業式で、清水校長先生が、相田みつをさんの作品(詩)『一生燃焼、一生感動、一生不悟(ふご)』を紹介して、「この詩は、生きてこれたことに感謝して、いまを大事

に、具体的な活動を通じて、恩返しをする。そして何か感動して生きることが出来れば、こんな豊かな人生はないのではないのか。という問いかけであり、『こだわり』の人生を表現させよう。という訴えかけでもある。一方、『一体どれだけ努力すればよいのか』と嘆く人がいる。往々にして、『やれるのにやっていない人』や、『最初の一步目を踏み出そうとしない人』に多いのかもしれない。人間は、努力して、創造していく間こそ、人生なのであり、『生きている』間は努力し、創造しなければならない存在なのである。3学期しっかり頑張っていこう。」と年頭にあたり式辞を述べられました。



◆” オレンジの郷コンサート” マンドリン部

11日(月・祝)

マンドリン部が有田川町にある介護老人保健施設『オレンジの郷』でコンサートをを行いました。曲目は、クラシック曲や「ふるさと」など懐かしい曲から、映画音楽「ムーンリバー」まで4曲を披露し、最後に「しあわせなら手をたたこう」を全員で歌っていただきました。みなさんは手拍子をしながら一緒に口ずさんでくださり、楽しいひと時を過ごされていました。これからも地域の方々とのふれあいを多く持ち、喜んでもらえるクラブ作りを目指したいと思います。



◆耐久高校生「大学入試センター試験」への道のり

hop

” 正月返上” センター特訓プレテストに挑戦

元日

(祝)と2日(土)の両日、大学入試センター試験受験生の内41名が、正月返上で、直前センター特訓プレテストに挑みました。受験生にとっては、焦りが出て集中力に欠ける時期ですが、2週間後の本番と同じ時間設定で問題に取り組むことによって、「最後まで諦めない」という姿勢を身につけてほしいと思います。



センタープレテスト

step

センター対策講座と3年生最後の定期考査

15日



最後の定期考査

(金)3年生は高校最後の定期考査(4日間)を無事終えることができました。その後、明日から始まる大学入試センター試験を受ける生徒は、講義401教室で最後のセンター対策講座を受講しました。講座終了に際して、清水校長先生より「前向きな受験生になること。センター試験は2日間という長時間の戦いで、休憩等の使い方ひとつで優劣が決まるとも言われ、ミスを引きずると致命的なことになる。気持ちを切り替えて今の問題に集中することが成功の秘訣である。」と激励の言葉をいただき、受験生は一層気を引き締めている様子でした。



センター対策講座

jump

大学入試センター試験”本番”

16日(土)、17日(日)大学入試センター試験

が行われました。受験会場は向陽高校で、本校から71名が受験しました。受験生は、12月からセンター対策講座を受け、冬季休業中は本校自習室で自主学習を行い、センタープレテストで本番と同じ時間設定で問題に取り組む等々、全力で勉強に励んできました。センター試験翌日の18日(月)には自己採点を行い、各社のセンターリサーチに各自のデータを登録しました。国公立前期日程試験まで、あと1か月余。センター試験からの気持ちを切り替えて、志望校に照準を合わせた学習を行い、合格を勝ち取っていきましょう。なお、今年度は1、2年の生徒7名が、次に繋げようと、センター試験同日体験受験に参加しました。在校生は3年の先輩に負けぬよう今後も頑張っていってほしいです。

2月予定



- 1日、15日 朝の挨拶運動
- 3日~5日 1年修学旅行
- 13日、14日 2年センター試験
早期対策模試
- 17日 2次マラソン
- 29日 卒業式予行、送る会

◆”走りきったーっ” 校内マラソン大会

28日(木)、晴天に

恵まれ絶好のマラソン日和となり、湯浅町民グラウンドを出発点に、校内マラソン大会が行われました。清水校長先生から「気持ちの面でも、体調の面でも、自分をコントロールすることが大事である。最後までゴールを目指して欲しい。」と激励の言葉をいただいた後、1、2年生が、男子9.0km、女子6.2kmのマラソンコースを走りきりました。

【記録】男子1位、秦 啓款 君(2年)30分16秒(昨年1位31分53秒)
女子1位、山下 玄さん(1年)24分57秒(昨年1位25分28秒)